

3

県民生活



3-01
通勤・通学時間 ▶▶ 100分(1時間40分)
全国第1位

指標 2021年の神奈川の通勤・通学時間(行動者平均時間、15歳以上)は100分(1時間40分)で、100分以上となっているのは神奈川のみであり、全国第1位です。男性の平均は107分(1時間47分)、女性の平均は90分(1時間30分)となっており、共に全国第1位です。なお、女性の平均で90分以上となっているのも神奈川のみです。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 総平均時間と行動者平均時間

社会生活基本調査における行動の種類別平均時間は、1人1日当たりの平均行動時間数で、総平均時間と行動者平均時間があります。総平均時間は、該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均時間です。それに対して、行動者平均時間は、該当する種類の行動をした人のみについての平均時間です。

3-02
睡眠時間 ▶▶ 465分(7時間45分)

指標 2021年の神奈川の睡眠時間(行動者平均時間、15歳以上)は465分(7時間45分)となっており、全国第47位で、全国で最も短くなっています。男性の平均は469分(7時間49分)で全国第46位、女性の平均は462分(7時間42分)で全国第43位です。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

3-03
趣味・娯楽時間 ▶▶ 52分

指標 2021年の神奈川の趣味・娯楽時間(総平均時間、15歳以上)は52分となっており、全国第2位で東京に次いで2番目に長くなっています。1位の東京との差は3分となっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 趣味・娯楽

趣味・娯楽は、個人の自由時間の中で行うものをいい、代表的なものとして、スポーツ観戦・観戦、美術鑑賞、カラオケ、茶道、編み物・手芸、日曜大工、写真の撮影、趣味としての読書、囲碁・将棋、パチンコ、スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム、遊園地・動植物園・水族館などの見物、キャンプ等、35種の区分があります。

なお、スポーツ観戦・鑑賞及び美術鑑賞は、テレビ・スマートフォン・パソコンなどによるものは除きます。

3-04
スポーツをした時間 ▶▶ 12分

指標 2021年の神奈川のスポーツをした人の1日当たりの時間(総平均時間、15歳以上)は12分で、全国第10位となっており、全国平均と同じです。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

3-05
ボランティア活動をした人の割合 ▶▶ 17.3%

指標 過去1年間にボランティア活動をした人の人口に対する割合(行動者率)では、神奈川は17.3%で、全国第37位となっています。全国平均は18.1%、1位は島根の26.1%、最下位は青森の14.2%です。

種類別でみたときに神奈川で最も大きな割合となっているのは道路や公園等の清掃、まちおこしなどの「まちづくりのための活動」で、5.8%です。次に大きな割合となっているのは、子ども会の世話、子育て支援ボランティア、学校行事の手伝いなどの「子どもを対象とした活動」で、5.2%です。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 ボランティア活動

報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉増進のために行う活動をいいます。

活動のための交通費など実費程度の金額の支払いを受けても報酬とみなさず、その活動はボランティア活動に含まれます。なお、ボランティア団体が開催する催し物などへの単なる参加は除きます。

ボランティア活動をした人の種類別割合

2021年	単位:%	
ボランティア活動の種類	全国	神奈川
健康や医療サービスに関係した活動	2.2	2.0
高齢者を対象とした活動	2.5	2.3
障害者を対象とした活動	0.9	0.9
子どもを対象とした活動	4.6	5.2
スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動	2.8	3.6
まちづくりのための活動	7.5	5.8
安全な生活のための活動	3.1	2.6
自然や環境を守るための活動	3.0	2.6
災害に関係した活動	0.8	0.9
国際協力に関係した活動	0.8	1.0
その他	2.0	1.9
(総数)	18.1	17.3

統計情報 社会生活基本調査

令和3年社会生活基本調査 [総務省統計局]
公表日:令和4年8月31日 公表周期:5年ごと

国民の生活時間の配分や自由時間における主な活動を調査し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進など各種行政施策の基礎資料として利用されています。1976年以来5年ごとに実施されており、2021(令和3)年調査は全国で

約9万1千世帯の10歳以上の世帯員を対象に、令和3年10月20日現在で実施されました。

ただし、生活時間の配分についての調査は、10月16日～24日までの9日間のうちから、指定された連続する2日間を調査日としました。また、1日の行動を20種類に分類し、15分単位で時間帯別の行動状況を調査しました。

通勤・通学時間

3-01

2021年
男女総計の上位

順位	都道府県	男性	女性	男女 総計
	全 国	84	71	78
1	神奈川	107	90	100
2	埼 玉	102	82	94
2	千 葉	100	86	94
2	東 京	104	82	94
5	奈 良	94	81	88
6	大 阪	92	80	87
7	兵 庫	92	74	84
8	京 都	84	74	80
9	茨 城	85	68	78
9	愛 知	82	70	78

男女総計の下位

順位	都道府県	男性	女性	男女 総計
34	青森、岩手	66	57	62
34	富 山	68	55	62
34	島 根	66	58	62
34	高 知	67	58	62
39	鹿児島	64	59	61
40	秋 田	63	55	60
40	新 潟	64	55	60
40	石 川	64	56	60
40	福 井	61	59	60
44	鳥 取	60	56	58
44	宮 崎	60	55	58
46	愛 媛	62	51	57
47	山 形	59	51	56

令和3年社会生活基本調査

睡眠時間

3-02

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全 国	472
1	青 森	487
2	秋 田	484
3	高 知	483
3	鹿児島	483
5	宮 城	482
5	山 形	482
7	岩 手	479
7	福 井	479
9	北海道	478
9	福 島	478

下位

順位	都道府県	値
	全 国	472
34	岐阜、愛知	471
34	奈良、徳島	471
34	愛 媛	471
39	埼 玉	469
39	大 阪	469
39	長 崎	469
42	千 葉	468
42	静 岡	468
42	兵 庫	468
45	東 京	467
45	岡 山	467
47	神奈川	465

令和3年社会生活基本調査

趣味・娯楽時間

3-03

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全 国	48
1	東 京	55
2	宮 城	52
2	神奈川	52
4	大 阪	51
5	埼 玉	50
6	千 葉	49
6	愛 知	49
6	奈 良	49
6	高 知	49
10	石 川	48
10	岐 阜	48

下位

順位	都道府県	値
	全 国	48
36	青森、鳥取	41
36	宮 崎	41
39	岩手、山形	40
39	佐 賀	40
42	福 井	39
42	島 根	39
42	鹿児島	39
45	山 梨	38
45	熊 本	38
47	沖 縄	37

令和3年社会生活基本調査

スポーツをした時間

3-04

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全 国	12
1	沖 縄	14
2	茨城、群馬	13
2	三重、滋賀	13
2	大阪、兵庫	13
2	鳥取、佐賀	13
10	栃木、埼玉、東京	12
10	神奈川	12
10	石川、岐阜、愛知	12
10	京都、岡山、山口	12
10	徳島、愛媛、熊本	12
10	大分、宮崎	12
10	鹿児島	12

下位

順位	都道府県	値
	全 国	12
38	北海道	10
38	岩 手	10
38	福 井	10
38	山 梨	10
38	島 根	10
43	山 形	9
43	富 山	9
45	青 森	8
45	秋 田	8
45	新 潟	8

令和3年社会生活基本調査

ボランティア活動をした人の割合

3-05

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全 国	18.1
1	島 根	26.1
2	佐 賀	25.4
3	岩 手	24.8
3	滋 賀	24.8
5	鳥 取	24.3
6	山 形	23.7
7	岡 山	23.6
8	熊 本	22.5
9	鹿児島	22.4
10	福 井	22.2

下位

順位	都道府県	値
	全 国	18.1
37	茨 城	17.3
37	神奈川	17.3
39	京 都	16.8
40	栃 木	16.7
40	愛 知	16.7
42	北海道	16.5
43	埼 玉	15.9
44	東 京	15.8
45	千 葉	15.2
46	大 阪	14.7
47	青 森	14.2

令和3年社会生活基本調査

注釈

3-01

1) 15歳以上、1人1日当たりの平均時間、土日含む週全体の平均、通勤・通学をする人のみの平均(行動者平均時間)。

3-02

1) 15歳以上、1人1日当たりの平均時間、土日含む週全体の平均。

3-03、3-04

1) 15歳以上、1人1日当たりの平均時間。該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての総平均時間。

3-05

1) 15歳以上の集計。

2) 割合の分母は人口である。

3) 2020(令和2)年10月20日～2021(令和3)年10月19日の1年間における当該活動の有無を調査している。

3-03～3-05

1) 令和3年社会生活基本調査の調査票Aに基づく結果のうち、自由時間における過去1年間の主な活動に関する結果。

3-06
旅行・行楽に行った人の割合 ▶▶ 53.9%

指標 過去1年間に旅行・行楽に行った人の人口に対する割合(行動者率)では、神奈川は53.9%で、全国第3位となっています。

全国平均は、48.9%で、1位は愛知56.7%、最下位は沖縄30.1%です。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 旅行・行楽

旅行とは、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいいます。

行楽とは、日常生活圏を離れて宿泊を伴わず半日以上かけて行うものをいいます。また、夜行日帰りを含みます。

なお、観光旅行にはレクリエーション・スポーツなどのための旅行を含み、帰省・訪問などの旅行には、そのついでに観光旅行をした場合も含みます。

ここでいう旅行・行楽には、業務出張・研修、修学旅行・ボランティア活動に参加するための旅行は含みません。また、これらのついでに観光旅行をした場合も含みません。

3-07
家事時間(男性) ▶▶ 104分(1時間44分)

指標 2021年の神奈川の男性の家事時間(行動者平均時間、15歳以上)は104分(1時間44分)で、全国第21位となっています。

神奈川の男性の家事時間は、有業者は91分(1時間31分)、無業者は124分(2時間4分)で、有業者より無業者の方が家事時間が長くなっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 家事

炊事、食事の後片付け、掃除、ゴミ捨て、洗濯、家族の身の周りの世話及び銀行・市役所などの用事のほか、通勤や通学者などの送迎、自家消費用の作物の栽培、インターネットによる株価のチェック・株式の売買も含みます。

用語 有業者・無業者

有業者とは、ふだんの状態として、収入を目的とした仕事を続けている人を行い、自家営業の手伝い(家族従業者)は、無給であってもふだん継続して仕事をしていれば有業者としました。また、育児休業や介護休業などで仕事を一時的に休んでいる場合は、収入の有無及び休業日数の長短にかかわらず有業者としています。

なお、仕事があつたりなかったりする人や、忙しい時だけ家業を手伝う人など、ふだんの状態がはっきり決められない場合は、おおむね、1年間に30日以上仕事をしている場合を有業者としました。

無業者とは、有業者以外の人をいいます。

統計情報 社会生活基本調査

令和3年社会生活基本調査 [総務省統計局]
公表日:令和4年8月31日 公表周期:5年ごと

国民の生活時間の配分や自由時間における主な活動を調査し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進など各種行政施策の基礎資料として利用されています。1976年以来5年ごとに実施されており、2021(令和3)年調査は全国で

3-08
家事時間(女性) ▶▶ 224分(3時間44分)

指標 2021年の神奈川の女性の家事時間(行動者平均時間、15歳以上)は224分(3時間44分)で、全国第4位となっています。1位の奈良との差は15分となっています。

神奈川の女性の家事時間は、有業者は189分(3時間9分)、無業者は263分(4時間23分)で、有業者より無業者の方が家事時間が長くなっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

3-09
介護・看護時間(男性) ▶▶ 80分(1時間20分)

指標 2021年の神奈川の男性の介護・看護時間(行動者平均、15歳以上)は80分(1時間20分)で、全国第43位となっています。

神奈川の男性の介護・看護時間は、有業者は68分(1時間8分)、無業者は75分(1時間15分)で、有業者より無業者の方が介護・看護時間が長くなっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 介護・看護

介護・看護とは、家族・他の世帯にいる親族に対する日常生活における入浴、トイレ、移動、食事などの手助け及び看病をいい、一時的な病気などで寝ている家族に対する介護・看護も含みます。

家族以外の人に対する無報酬の介護・看護は含みません。

3-10
介護・看護時間(女性) ▶▶ 130分(2時間10分)

指標 2021年の神奈川の女性の介護・看護時間(行動者平均、15歳以上)は130分(2時間10分)で、全国第17位となっています。

神奈川の女性の介護・看護時間は、有業者は111分(1時間51分)、無業者は136分(2時間16分)で、有業者より無業者の方が介護・看護時間が長くなっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]



約9万1千世帯の10歳以上の世帯員を対象に、令和3年10月20日現在で実施されました。

ただし、生活時間の配分についての調査は、10月16日～24日までの9日間のうちから、指定された連続する2日間を調査日としました。また、1日の行動を20種類に分類し、15分単位で時間帯別の行動状況を調査しました。

旅行・行楽に行った人の割合

3-06

2021年 上位			下位		
順位	都道府県	値	順位	都道府県	値
	全 国	48.9			%
1	愛 知	56.7	38	富 山	40.8
2	東 京	55.0	39	島 根	39.7
3	神奈川	53.9	40	高 知	38.6
4	京 都	53.6	41	香 川	38.3
5	福 岡	51.9	42	鳥 取	37.8
6	宮 城	51.8	43	愛 媛	36.8
6	滋 賀	51.8	44	青 森	35.9
8	大 阪	51.3	45	長 崎	35.5
9	兵 庫	50.9	46	徳 島	32.0
10	埼 玉	50.7	47	沖 縄	30.1

令和3年社会生活基本調査

【旅行・行楽に行った人の種類別割合】

2021年

単位:%

区分	全国	神奈川県
行楽（日帰り）	40.0	43.0
旅行（1泊2日以上）	31.9	37.9
国内	31.8	37.8
観光旅行	24.7	29.8
帰省・訪問などの旅行	14.2	16.0
海外（観光旅行）	0.4	0.5
（総 数）	48.9	53.9

家事時間(男性)

3-07

2021年 上位			下位		
順位	都道府県	値	順位	都道府県	値
	全 国	102分			分
1	愛 媛	121	36	東京、新潟	97
2	香 川	119	36	滋賀、大阪	97
3	秋 田	118	36	熊 本	97
4	福 井	115	41	宮 城	96
5	和歌山	114	41	茨 城	96
6	長 野	113	43	愛 知	95
7	岩手、埼玉、岐阜	111	44	兵 庫	94
10	山形、山梨、三重	110	45	北海道	93
10	島根、大分	110			
21	群 馬	104	46	青 森	92
21	神奈川	104	47	石 川	90
21	京都、岡山、佐賀	104			

令和3年社会生活基本調査

家事時間(女性)

3-08

2021年 上位			下位		
順位	都道府県	値	順位	都道府県	値
	全 国	211分			分
1	奈 良	239	38	東 京	201
2	滋 賀	234	39	宮 城	200
3	三 重	226	39	福 岡	200
4	神奈川	224	39	佐 賀	200
4	岡 山	224	42	青 森	199
6	埼 玉	221	42	福 島	199
6	静 岡	221	42	沖 縄	199
8	兵 庫	219	45	山 形	197
9	愛 知	217	46	島 根	196
9	和歌山	217	47	岩 手	195

令和3年社会生活基本調査

介護・看護時間(男性)

3-09

2021年 上位			下位		
順位	都道府県	値	順位	都道府県	値
	全 国	135分			分
1	岡 山	253	38	滋 賀	97
2	栃 木	226	39	福 岡	93
2	千 葉	226	40	福 島	87
4	岐 阜	207	40	山 梨	87
5	宮 城	181	42	石 川	83
6	長 崎	179	43	神奈川	80
7	愛 媛	174	44	徳 島	79
8	静 岡	169	45	秋 田	78
9	富 山	164	46	宮 崎	75
10	沖 縄	162	47	群 馬	72

令和3年社会生活基本調査

介護・看護時間(女性)

3-10

2021年 上位			下位		
順位	都道府県	値	順位	都道府県	値
	全 国	126分			分
1	岐 阜	154	38	岩 手	108
2	滋 賀	151	39	宮 城	106
2	沖 縄	151	39	島 根	106
4	福 井	148			
5	北海道	147	41	大 分	105
5	和歌山、鹿児島	147	42	香 川	104
8	栃 木	145	43	石 川	103
9	山 形	144	44	静 岡	101
10	埼 玉	141	45	秋 田	95
17	神奈川	130	46	宮 崎	91
17	岡 山	130	47	青 森	87

令和3年社会生活基本調査

注釈

3-06

- 1) 15歳以上の集計。
- 2) 割合の分母は人口である。
- 3) 2020(令和2)年10月20日～2021(令和3)年10月19日の1年間に
おける当該活動の有無を調査している。
- 4) 令和3年社会生活基本調査の調査票Aに基づく結果のうち、自由時間
における過去1年間の主な活動に関する結果。

3-07～3-10

- 1) 15歳以上、1人1日当たりの平均時間、土日含む週全体の平均。

地方公共団体における男女共同参画社会施策の推進状況

1. 男女共同参画社会とは

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。(男女共同参画社会基本法第2条)

2. 地方公共団体における推進状況

男女共同参画計画の策定市区町村割合や、地方公共団体における審議会等委員・議会議員・管理職の女性比率について、神奈川の2022年の値を見ると、いずれの項目も全国を上回っています。

いずれの項目も、5年前と比較してみると全国的に上昇傾向にあるといえます。しかしながら、議会議員や管理職の女性比率は低めとなっており、上位と下位の差が大きいことが分かります。

男女共同参画計画の策定市区町村割合					
2017年	全 国	75.2 %	2022年	全 国	86.7 %
	1位	100.0		1位	100.0
	神奈川	87.9 (25)		神奈川	97.0 (19)
	47位	30.2		47位	53.7

この統計は
[地方公共団体における男女共同参画社会の形成
又は女性に関する施策の推進状況]

県庁審議会等委員の女性比率					
2017年	全 国	36.7 %	2022年	全 国	38.1 %
	1位	54.6		1位	56.8
	神奈川	34.3 (35)		神奈川	38.8 (24)
	47位	28.5		47位	28.1

市町村審議会等委員の女性比率					
2017年	全 国	26.2 %	2022年	全 国	28.0 %
	1位	31.6		1位	34.2
	神奈川	30.6 (4)		神奈川	31.1 (5)
	47位	20.4		47位	22.6

県議会議員の女性比率					
2017年	全 国	9.9 %	2022年	全 国	11.8 %
	1位	20.3		1位	31.7
	神奈川	16.2 (4)		神奈川	18.3 (3)
	47位	2.3		47位	2.9

市町村議会議員の女性比率					
2017年	全 国	12.8 %	2022年	全 国	15.4 %
	1位	26.2		1位	29.7
	神奈川	20.7 (2)		神奈川	23.7 (2)
	47位	6.4		47位	8.3

県庁管理職の女性比率					
2017年	全 国	9.0 %	2022年	全 国	12.7 %
	1位	18.4		1位	22.7
	神奈川	11.4 (7)		神奈川	14.9 (10)
	47位	4.9		47位	7.3

市町村管理職の女性比率					
2017年	全 国	14.1 %	2022年	全 国	17.1 %
	1位	25.3		1位	27.3
	神奈川	14.8 (18)		神奈川	17.8 (19)
	47位	7.3		47位	9.2

・()内は、全国における順位。

用語 男女共同参画基本計画

男女共同参画社会の形成の促進に関する基本的な計画で、政府及び都道府県において策定が義務付けられているほか、市町村においても男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるように努めなければならないことが規定されています。

用語 審議会等委員

県や市町村など地方公共団体が設置する児童福祉審議会や建築審査会などの委員をいいます。

用語 管理職

教職員以外で各地方公共団体の定員となっている職員が対象です。国家公務員の身分で地方公共団体に出向している職員などを含まません。

3. 男女共同参画に関する国際比較

世界経済フォーラムが公表している日本の「ジェンダー・ギャップ指数(GGI)」は0.647で146か国中125位となっています(2023年)。1位はアイスランドの0.912となっており、指数は男性に対する女性の割合で示されるため、1に近いほど男女平等であるといえます。

分野別に見ると、日本の「教育」と「健康」は世界トップクラスですが、「政治」と「経済」の値が低くなっています。

統計情報 地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況

地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況 [内閣府]
公表日: 令和4年12月27日 公表周期: 毎年
全国の地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況を把握し、取りまとめた結果を情報提供しているものです。

2022(令和4)年度は47都道府県、20政令指定都市及び1741市区町村の状況を原則として2022年4月1日現在で調査していますが、調査項目によっては各地方自治体の事情により異なる場合があります。

3-11 育児時間(男性) ▶▶ 148分(2時間28分)

指標 2021年の神奈川の男性の育児時間(行動者平均時間、15歳以上)は148分(2時間28分)で、全国第12位となっています。

1位の奈良との差は48分となっています。神奈川の男性の育児時間は、有業者は189分(3時間9分)、無業者は263分(4時間23分)で、無業者より有業者の方が育児時間が長くなっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

用語 育児

育児とは、乳幼児の世話、子どものつきそい、子どもの勉強相手や遊び相手、保護者会への出席等をいい、子どもの教育に関する行動を含みます。

なお、就学後の子どもの身の回りの世話は育児に含めず、家事に含めることとしています。

3-12 育児時間(女性) ▶▶ 234分(3時間54分)

指標 2021年の神奈川の女性の育児時間(行動者平均時間、15歳以上)は234分(3時間54分)で、全国第10位となっています。

1位の三重との差は35分となっています。神奈川の女性の育児時間は、有業者は219分(3時間39分)、無業者は259分(4時間19分)で、有業者より無業者の方が育児時間が長くなっています。

この統計は [令和3年社会生活基本調査]

3-13 女性管理職比率 ▶▶ 9.0%

指標 2020年6月30日現在、神奈川の管理的職業従事者11万5950人のうち、女性は1042人で、女性の管理職比率は9.0%となっており、全国第21位となっています。

上位10県のうち8県が西日本の県(沖縄、岡山、和歌山、奈良、宮崎、山口、島根、大分)となっており、女性管理職比率が高くなっています。また、全国平均は8.8%です。

この統計は [令和2年賃金構造基本統計調査]

用語 管理的職業従事者

事業経営方針の決定、経営方針に基づく執行計画の樹立・作業の監督・統制など、経営体の全般又は課(課相当を含む)以上の内部組織の経営・管理に従事するものをいいます。

執行役員、部長、課長等を含みますが、研究所長、病院長・診療所長(医師)、歯科医院長・歯科診療所長(歯科医師)、校長等は含みません。

統計情報 賃金構造基本統計調査

令和2年賃金構造基本統計調査 [厚生労働省]

公表日: 令和3年3月31日 公表周期: 毎年

5人以上の常用労働者を雇用する民営事業所及び10人以上の常用労働者を雇用する公営事業所を対象とし、全国から一定の方法で抽出された事業所に対して、賃金や労働時間について調査されたものです。

調査結果は労働者の賃金について雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別など様々な角度からみることができます。

育児時間(男性) 3-11

2021年

上位

順位	都道府県	値
		分
	全 国	140
1	奈 良	196
2	宮 崎	159
3	北海道	155
3	山 形	155
5	高 知	154
6	兵 庫	153
7	秋田、埼玉	151
7	福 井	151
10	山 梨	150
12	岩 手	148
12	神奈川	148
12	福岡、大分	148

下位

順位	都道府県	値
		分
38	岡 山	123
39	鹿児島	122
40	宮 城	121
40	富 山	121
40	徳 島	121
43	愛 知	119
44	岐 阜	118
45	佐 賀	116
46	山 口	112
47	石 川	96

令和3年社会生活基本調査

育児時間(女性) 3-12

2021年

上位

順位	都道府県	値
		分
	全 国	227
1	三 重	269
2	沖 縄	268
3	長 野	260
4	東 京	249
5	山 口	248
6	香 川	243
7	埼 玉	241
8	群 馬	236
8	愛 知	236
10	神奈川	234

下位

順位	都道府県	値
		分
38	佐 賀	195
38	長 崎	195
40	和歌山	194
41	山 梨	189
42	秋 田	185
42	徳 島	185
44	島 根	184
44	鹿児島	184
46	鳥 取	177
47	富 山	169

令和3年社会生活基本調査

女性管理職比率 3-13

2020年

上位

順位	都道府県	値
		%
	全 国	8.8
1	沖 縄	17.8
2	岡 山	16.9
3	和歌山	13.8
4	奈 良	13.6
5	宮 崎	12.7
6	山 口	12.5
7	島 根	12.3
8	新 潟	12.0
9	青 森	11.5
10	大 分	11.0
21	神奈川	9.0

下位

順位	都道府県	値
		%
38	栃 木	6.7
39	三 重	6.6
40	香 川	6.5
41	佐 賀	6.3
42	愛 知	6.2
43	鹿児島	5.9
44	長 崎	5.8
45	岐 阜	5.7
46	長 野	5.5
47	滋 賀	4.8

令和2年賃金構造基本統計調査

注釈

3-13

1) 女性管理職比率＝管理的職業従事者の女性／管理的職業従事者の男女計

2) 令和2年賃金構造基本統計調査をもとに、県統計センター算出。

3-14 宿泊者数 ▶▶ 年間2209万800人

指標 2022年の1年間に神奈川県内の宿泊施設へ宿泊した人は延べ2209万800人で、全国第5位です。1位東京、以下大阪、北海道、千葉と続いています。全国では延べ4億5045万8460人となっています。

2019年の宿泊者数と比較すると、山口を除く46県で減少に転じており、全国では1億4546万3020人減少し、神奈川は179万3090人減少しています。

この統計は [宿泊旅行統計調査(令和元、4年・年間値(確定値))]

用語 宿泊施設

宿泊施設とは、旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいいます。この調査の対象として、都道府県、従業者数規模別層化抽出により抽出された宿泊施設は、神奈川では1679施設です。(令和4年12月現在)

3-15 県内からの宿泊者数 ▶▶ 年間908万6470人

指標 2022年の1年間に神奈川県内の宿泊施設に宿泊した人のうち、県内からの宿泊者数は908万6470人です。

第1位は東京の1785万3120人、第2位は北海道の1436万5230人と続き、神奈川は全国第3位です。

2019年の県内からの宿泊者数と比較すると、全国では914万7070人増加し、神奈川は300万2160人増加しています。

この統計は [宿泊旅行統計調査(令和元、4年・年間値(確定値))]

用語 県内と県外の区分

県外からの宿泊者と県内からの宿泊者の区分は、宿泊者の居住地によります。

3-16 県外からの宿泊者数 ▶▶ 1226万880人

指標 2022年の1年間に神奈川県内の宿泊施設に宿泊した人のうち、県外からの宿泊者数は1226万880人で、全国第8位です。

県外からの宿泊者数が最も多いのは東京で、以下大阪、京都、千葉、沖縄と続いています。

2019年の県外からの宿泊者数と比較すると、全ての県で減少に転じており、全国では1億3470万690人減少し、神奈川では356万900人減少しています。

この統計は [宿泊旅行統計調査(令和元、4年・年間値(確定値))]

統計情報 宿泊旅行統計調査

宿泊旅行統計調査(令和4年・年間値(確定値)) [観光庁]
公表日:令和5年6月30日 公表周期:毎年

調査対象は、ホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などのうち、従業員数10人以上の宿泊施設については全施設及び、従業員数5人以上10人未満の施設についてはその一部を抽出しています。

3-17 外国人宿泊者数 ▶▶ 年間46万2280人

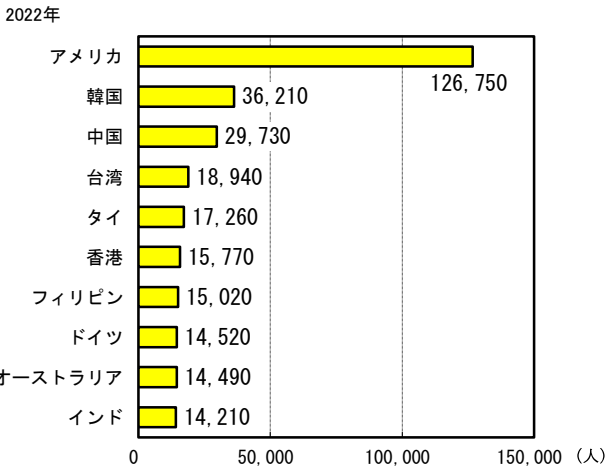
指標 2022年の神奈川の外国人宿泊者数は46万2280人で、全国第7位です。1位東京、以下大阪、京都、千葉、北海道と続いています。全国では1360万7790人となっています。

2019年の宿泊者数と比較すると、全ての県で減少に転じており、全国では、8769万8660人減少し、神奈川は249万4250人減少しています。

また、2022年の神奈川の外国人宿泊者数を国籍(出身地)別にみると、アメリカが最も多く、次いで、韓国、中国、台湾、タイとなっています。

この統計は [宿泊旅行統計調査(令和元、4年・年間値(確定値))]

神奈川の外国人宿泊者の国籍



用語 外国人宿泊者、国籍(出身地)

外国人宿泊者とは、宿泊者のうち日本国内に住所を有しない者をいい、県外からの宿泊者の中に含まれています。この回答が困難な施設は、日本国籍を有しないものを外国人宿泊者としています。国籍(出身地)は、宿泊者が提示した旅券の国又は地域をいいます。



宿泊者数

3-14

2022年

宿泊者数の上位

順位	都道府県	(参考)3年間の増減 19→22年	(参考)2019年の 宿泊者数	2022年の 宿泊者数
	全 国	-145,463,020	595,921,480	450,458,460
1	東 京	-19,944,750	78,981,720	59,036,970
2	大 阪	-16,905,030	47,427,510	30,522,480
3	北海道	-7,814,070	36,983,420	29,169,350
4	千 葉	-6,428,950	29,229,120	22,800,170
5	神奈川	-1,793,090	23,883,890	22,090,800
6	京 都	-9,639,140	30,749,560	21,110,420
7	静 岡	-5,121,840	23,429,440	18,307,600
8	沖 縄	-14,632,730	32,865,670	18,232,940
9	愛 知	-3,526,190	19,337,740	15,811,550
10	長 野	-3,880,360	18,052,570	14,172,210

宿泊者数の下位

順位	都道府県	(参考)3年間の増減 19→22年	(参考)2019年の 宿泊者数	2022年の 宿泊者数
38	香 川	-1,418,860	4,659,250	3,240,390
39	富 山	-740,430	3,807,890	3,067,460
40	島 根	-768,950	3,641,650	2,872,700
41	秋 田	-881,720	3,653,930	2,772,210
42	福 井	-1,433,040	4,144,090	2,711,050
43	高 知	-339,020	2,903,110	2,564,090
44	奈 良	-654,800	2,726,320	2,071,520
45	佐 賀	-807,000	2,801,730	1,994,730
46	鳥 取	-1,006,050	2,887,920	1,881,870
47	徳 島	-726,320	2,568,550	1,842,230

宿泊旅行統計調査（令和元、4年・年間値（確定値））

県内からの宿泊者数

3-15

2022年

県内からの宿泊者数の上位

順位	都道府県	(参考)3年間の増減 19→22年	(参考)2019年の 県内からの宿泊者数	2022年の 県内からの宿泊者数
	全 国	9,147,070	111,382,750	120,529,820
1	東 京	3,276,710	14,576,410	17,853,120
2	北海道	1,191,620	13,173,610	14,365,230
3	神奈川	3,002,160	6,084,310	9,086,470
4	大 阪	2,114,270	5,862,520	7,976,790
5	愛 知	179,210	4,858,040	5,037,250
6	千 葉	737,740	4,066,830	4,804,570
7	静 岡	-245,170	4,280,410	4,035,240
8	福 岡	-174,840	3,988,180	3,813,340
9	兵 庫	306,290	3,275,220	3,581,510
10	京 都	861,420	2,345,640	3,207,060

宿泊旅行統計調査（令和元、4年・年間値（確定値））

県外からの宿泊者数

3-16

2022年

県外からの宿泊者数の上位

順位	都道府県	(参考)3年間の増減 19→22年	(参考)2019年の 県外からの宿泊者数	2022年の 県外からの宿泊者数
	全 国	-134,700,690	450,048,720	315,348,030
1	東 京	-18,885,420	58,723,720	39,838,300
2	大 阪	-17,419,290	39,024,190	21,604,900
3	京 都	-8,751,880	26,400,930	17,649,050
4	千 葉	-5,638,820	23,087,130	17,448,310
5	沖 縄	-10,588,850	25,328,720	14,739,870
6	北海道	-8,026,710	22,173,400	14,146,690
7	静 岡	-4,127,570	18,038,500	13,910,930
8	神奈川	-3,560,900	15,821,780	12,260,880
9	長 野	-3,458,290	14,633,730	11,175,440
10	愛 知	-3,284,430	13,078,900	9,794,470

宿泊旅行統計調査（令和元、4年・年間値（確定値））

外国人宿泊者数

3-17

2022年

外国人宿泊者数の上位

順位	都道府県	(参考)3年間の増減 19→22年	(参考)2019年の 外国人宿泊者数	2022年の 外国人宿泊者数
	全 国	-87,698,660	101,306,450	13,607,790
1	東 京	-22,331,640	27,958,830	5,627,190
2	大 阪	-14,055,800	15,869,040	1,813,240
3	京 都	-7,839,890	8,949,140	1,109,250
4	千 葉	-3,932,490	4,718,120	785,630
5	北海道	-7,234,340	7,975,750	741,410
6	福 岡	-3,259,700	3,787,880	528,180
7	神奈川	-2,494,250	2,956,530	462,280
8	沖 縄	-4,993,690	5,423,450	429,760
9	愛 知	-3,275,420	3,577,060	301,640
10	長 野	-1,118,780	1,244,740	125,960

外国人宿泊者数の下位

順位	都道府県	(参考)3年間の増減 19→22年	(参考)2019年の 外国人宿泊者数	2022年の 外国人宿泊者数
38	山 形	-162,900	184,760	21,860
39	宮 崎	-286,070	306,170	20,100
40	奈 良	-421,120	439,610	18,490
41	佐 賀	-325,850	342,450	16,600
42	徳 島	-88,100	99,900	11,800
43	秋 田	-107,640	119,320	11,680
44	福 井	-68,650	79,440	10,790
45	鳥 取	-145,590	154,070	8,480
46	島 根	-62,760	71,020	8,260
47	高 知	-74,140	80,750	6,610

宿泊旅行統計調査（令和元、4年・年間値（確定値））

注釈

3-14～3-17

- 1) 宿泊者数は延べ宿泊者数で、1人が2泊した場合は2人と数える。
寝具を使用する子どもや乳幼児も1人としてカウントしている。
- 2) 「(参考)3年間の増減19→22年」については、県統計センター算出。